

# 文化の秋に心ふれあろう

## 第十回村民文化祭

「ふれあい、うるおい、和をつくろう」をテーマにした第十回村民文化祭が、二十九日と三〇日の二日間、公民館を主会場にして開かれ両日にぎ

わいました。

公民館を会場にした展示の部では書道、絵画、短歌、写真、趣味の作品、健康パネル展、菊花展など。

また、第二会場の役場ロビーでは生花を展示。

きりしは、農協もちまき、農協即売コーナー、森林組合即売コーナー、生活改善グループ青空市。婦人会バザー、婦人会チャリティ即売会、文化グループ発表会、健康



(とじて保存しましょう)

'85 11月

発行  
 河辺村公民館  
 ☎(0893)39-2111  
 内線 26・27  
 佐川印刷 KK  
 吉田町北小路  
 ☎(08955)2-0600

人のうごき  
 (昭和60年11月1日現在)

世帯数	589戸
男子	992人
女子	941人
計	1,933人

S59. 11. 1~1,985(-52)  
 S58. 11. 1~2,014(-81)  
 S57. 11. 1~2,059(-126)  
 S56. 11. 1~2,116(-183)  
 S55. 11. 1~2,167(-234)

相談コーナー、テレホンコーナー、小中学生音楽発表会、VTRコーナーなどの催しがおこなわれました。  
 第一日目の「文化グループ発表会」は婦人会が主となり、四分會がそれぞれ趣向を凝らした踊りを披露。  
 今回、バザー会場も同じ会場としたため、食事をしながらの観覧となつて、一段とごやかな雰囲気の中で盛んな拍手が贈られていました。  
 第二日目の午前中「小中学生音楽発表会」は、四校がそれぞれ合唱、合奏で交流を深め合い、超満員の観客から大きな声援と拍手がありました。  
 展示部門の出品総数は二八七点ありましたが、今年は盆栽の出品がなくて非常にさみしく、また菊の栽培者も少なくなつています。  
 せっかくの文化祭、住民一人一人が何らかの作品出品を心がけたいものです。



餅や新鮮な野菜に人気



超満員の会場は拍手の渦おきる

### やねばし

たんすの引出しから、ちよつと十銭玉を失敬して、よく二銭饅頭を買つて食べたものであった。子供の頃のなつかしい思い出の一つである。

当時酒一合十銭、焼酎五銭、砂糖一斤(一六〇匁)二十銭、夫婦でいろいろ昔話をしていたら、妻が砂糖に係る極秘の話をしてくれた。  
 入学前のオカッパの頃甘い物が食べたくて鏡台の引出しにしまつてあつた十銭玉二個を持出して砂糖を買いに行つたら、店のおばさんがお使い物にするのだらうと思つたのか、花のついた大きな紙袋に白砂糖一斤を入れてくれた。余り多いので持つて帰るわけにもいかず、山の中で一腹ご馳走になつたが、残つたのははぜの木の中へ突込んで帰り知らぬふり。後はのぞいても見なかつたが、多分蟻の餌にでもなつたであろうと。  
 お互いに失敬した者同士、結ばれて既に三十数年を過ぎて来た、夫婦の子供の頃のなつかしい思い出の一端である。  
 (K)

スポーツの秋に健康な汗  
**植松分館が優勝飾る**  
 第21回村民運動会

さわやかな秋晴れの下、スポーツに親しむ各分館の老若男女が一堂に集まり、第二十一回村民運動会が十月十日（体育の日）、河辺中学校グラウンドで行われ、終日たのしくなごやかな汗を流しました。

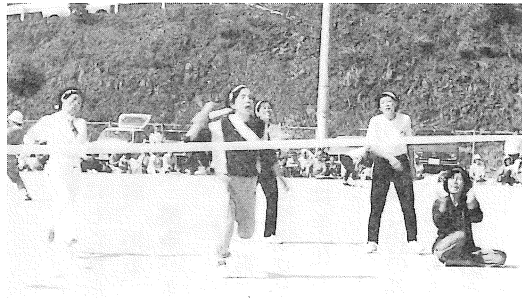
開会式は、河辺小学校の鼓笛隊七〇名が先導する中、前年度優勝の大伍分館を先頭に各分館選手団が入場行進。向井猛運営委員長が開会宣言し、大野富士男大会長のあいさつ、富永万作議長から激励のことばがあり、その後、請田竹男選手の力強い宣誓で競技を開始。

今年は新種目を多く取り入れ、丸太切り競争、千鳥足、東海道五十三次など、山村の生活を生かした力強くだものしい光景も見られました。

また、クロッケーモデル試合もルール解説つきで行われ、「お年寄り以外の若い層にも知って欲しい」という願いが込められていました。

対抗種目の総合結果は、植松分館が優勝を飾り、三年連続優勝を果たしてきた大伍分館にストップをかけました。

最後は、誕生ホヤ／＼の河辺音頭を皆んな輪になって踊り、健康的なコミュニケーションが図られました。



手に汗にぎった年代別リレー



賞状を手喜びの富永分館長

人は花をつくり  
 花は人をつくる

北平小学校の教育課題に「思いやりのある心、やりぬく子」を育てることがあります。菊づくりを通して、対話が生まれ、協力、責任、思いやりの心を育てる。また、深刻な社会問題となつてゐる、「いじめ」等の非行を絶滅して、他を思うやさしい心、取り組んだら最後までやりぬくたくましい実践力のある北平の子供を育てたい。……こんな願いをこめて、今年度から、全員一人一鉢菊づくりに取り組みました。

菊が成長して、花びらが

顔をのぞかせ始めると「わっほくのは赤だ。」「わたしのはピンクよ。」と、一日一日変化していく花の様子に、喜びの言葉を交わしていました。

学校だより

北平小学校

全員の菊を学校の玄関横に並べたときの子供たちは、「やったぞ!」という満足感に溢れ、その目は、美しく香り高い菊の花のように、生き生きと清らかなものでした。この様子を眺めながら「美しいものに感動していたわる心を日常生活に生かしたい。」と痛感しました。



菊の花は、一つ一つの小さな花びらが集まって一輪の美しい花の形をつくります。子供、教師、父母が心一つにして、温かい心で結ばれた学校を目指し、努力しています。

対抗種目の採点表

種目	分館			
	植松	坂本	大伍	北平
1 ポテトレース	30	20	40	10
2 二人三脚玉けり	30	10	20	40
3 年代別リレー(女)	40	10	30	20
4 300歳リレー(男)	30	10	20	40
5 丸太切競争	20	10	40	30
6 300歳リレー(女)	30	10	20	40
7 千鳥足	30	10	20	40
8 年代別リレー(男)	40	20	30	10
9 得点かせぎ	40	20	10	30
10 行きはよいよい かえりはこわい	30	10	40	20
11 綱引き	10	30	20	40
計	330	160	290	320
順位	①	4	3	2

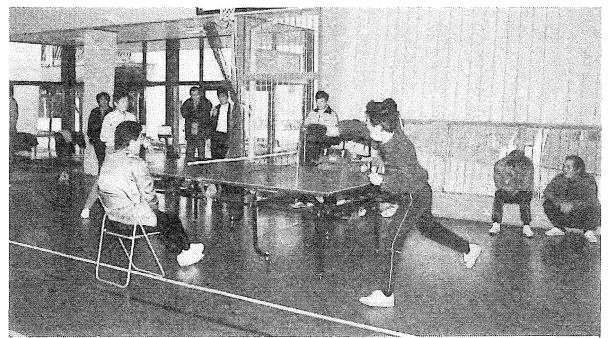
### 北平分館女子が2種目優勝

#### —卓球・バドミントン大会—

十一月十七日、卓球、バドミントン大会が河辺中学校体育館において開かれ、熱戦が繰りひろげられました。午前九時から卓球とバドミントンが同時に試合開始され、本年度の社会体育行事で最終種目となり、年間最多勝利賞に大きく影響することもあって、各分館ともに熱がこ

もり、家族ぐるみの活発な声援も飛び交っていました。結果は次のとおりです。

○卓球	
順位	男子勝敗 女子勝敗
一位	植松 北平
二位	北平 坂本
三位	坂本 植松
四位	大伍 大伍
○バドミントン	
順位	男子勝敗 女子勝敗
一位	大伍 北平
二位	植松 大伍
三位	坂本 坂本
四位	北平 植松



ハッスルプレーが続出

### 北平クラブが初優勝

#### 第六回高齢者運動会

秋晴れの十一月七日、民俗資料館グラウンドにおいて第六回高齢者運動会が開かれ、一三〇人が参加して楽しく一日を過ごしました。



役割分担して運営され、競技も熱の入った展開となり、それぞれチームが伯仲してシューゲームになりましたが結果、北平クラブが優勝しました。運動会は午前中で終り、午後は、手づくり弁当を持ち寄って懇親会が開かれ、午前中の競技の様子などを話し合いながら、和気あいあいの楽しい一日でした。

優勝 北平クラブ  
準優勝 植松クラブ  
敢闘賞 大伍クラブ  
努力賞 坂本クラブ

## 行政改革大綱の策定について

### 一、基本方針

(一)本村をとりまく、厳しい行財政環境のなかで、多様化する行政需要と人口の老齡化に対応しつゝ、地域社会の活性化及び住民福祉の増進を図るため引き続き行政改革を強力に推進する。

(二)行政改革の推進に当っては「河辺村行政改革懇談会」の答申を尊重し、議会と連携しつゝ、全庁が一体となっ

て取りくむとともに、村民をはじめ関係方面の理解と協力が得られるよう努める。

### 二、当面の措置事項

(一)事務事業の見直し  
くり生産安定対策事業を廃止、くり生産振興対策事業に統合(本村の基幹作物であるくり栽培について現在の老木園の改植等を行い経営の安定化及び地域経済の活性化を図るため、五か

年計画で本事業を推進する。

(二)組織、機構の簡素合理化  
農業委員会事務局を農林振興課へ統合(昭和六十二年度)

村長及び助役の宛職的役職の報酬廃止(昭和六十年)

行政委員会の廃止及び統合と委員定数の削減。

(三)定員管理の適正化  
定年制の施行に伴う退職予定者に対する補充を抑制して五か年計画で五%を削減する。

午前九時から開会式が行われ松井副会長が開会宣言、本田会長のあいさつに続いて来賓の大野村長、富永議長から祝辞をいただき、前年度優勝の大伍クラブ岡崎選手の宣誓で競技を開始しました。本年度は、役員すべての人がそれぞれ



意気高らかに宣誓する岡崎選手

### 「地域の生の声を」 村行政運営に反映さ せる目的」で、昨年 に続き地区懇談会を 企画し、九月二日よ り十月八日の間に村 内全域、十二会場で 開催しました。

### 生の声を行政に反映しよう 地区懇談会おわる

各地区とも区長さん方のご協力によりまして夜間お疲れのところ多数ご出席いただき、貴重なご意見、ご要望等を拝聴することができました。これひとえに村民各位の村政に対する関心の現れであると感謝しております。

これらの事項についてはさっそく役場各所管課において検討して、すぐ対応できるもの、また年度計画により対応せねばならないもの等いろいろあります。

いずれも早急に、地域のニーズに答えることが行政の課題であり、鋭意努力をしていくつもりでありますので、今後とも各位のご協力をお願いいたします。

#### ※要望事項の主なもの

- 一、地区主要道の改良等及び交通安全施設について
- 二、公共施設利用の安全確保

について

三、放送施設の難聴区域の解消について

四、農林業振興施策及び農林業施設の整備について

五、くり栽培における害虫の共同防除について

六、小学校の統合について

七、河川改修について

八、その他

#### 教育委員に 長岡吉男氏が就任

去る九月二十六日の村議会において、前教育委員松本久雄氏の任期満了に伴い、後任として椽谷の長岡吉男氏(五六歳)が推薦され、十月一日付をもって教育委員に任命されました。

#### 年金制度が改正

##### 第三号被保険者は届出を

年金制度の改正で国民年金は、すべての人が加入し、年金が受けられる基礎年金に衣替えます。加入者は、次の三つに分けられます。まず第一号被保険者は、農業や自営業の方で、従来からの国民年金の強制加入者です。次は第二号被保険者、これは厚生年金、船員保険に加入している人たちです。そして第三号

「ふる里は遠くにありて想うもの」と言うが、ふる里を離れて三十年まさにその感が強い。この三十年、北海道、横浜、東京、千葉と勤務し、全国から集った隊員と生活を共にして思うことは、隊員それぞれがふる里に、強い愛着と誇りともいうべきものを持っているということである。

特に豊かでも風光明媚でもない、山間の小さな村であつても決して悪くいう者はいない。それほど、ふる里はその人にとって不思議な魅力を持つ存在なのである。

東京を中心に、益と正月

被保険者です。第三号被保険者とは、厚生年金、船員保険に加入している人、すなわち第二号被保険者の配偶者で健康(船員)保険の被扶養者になつて二十歳から六十歳までの人たちです。第三号被保険者となりますと、自分で保険料を納める必要はなく、しかも自身自身の基礎年金を受けられることができます。そのため、市町村役場へ届出をしなければなりません。該当

### ふるさとに望む



千葉県松戸市 熊野 敏

には民族の大移動と言われる帰郷がはじまり、たくさんの土産をかかえてふる里に帰る。ふる里には安らぎがあり、温かさがあり、明日への活力を与える力がある。

人間の欲望達成のみのために破壊されてゆく自然を見るたびに、我がふる里はいつまでも自然のままの姿であつて欲しいとねがうものである。祖先が築き残してくれたふる里を開発の名のもとに破壊してはならない。「ふる里河辺」の平和と発展を心から祈念しつつ、いつの日かまた帰つてみたいと思つている。ふる里の山は有難きかな……。

#### 陸上自衛隊

第二高射特科群本部

熊野 敏

者の方々には、社会保険庁から、「国民年金任意加入被保険者現況届書」が郵送されます。これには、届出の方法、記入の仕方などを説明したリーフレットが同封されていますので、必ず届出をして下さい。届出は、来年の一月三十一日までです。

#### 交通事故防止について

大洲警察署管内において十一月末日現在、交通事故による死亡者が八名を数え、増加

これから年末を迎え、運転される方は十分注意をし、特に飲酒運転、暴走運転等、絶対にしないようにしましょう。また、交差点での左右確認と徐行、見通しの悪い道路での徐行運転を励行しよう。

※交通事故を起こすと、本人はもちろん、家族等が大変な不幸になります。十分注意しましょう。

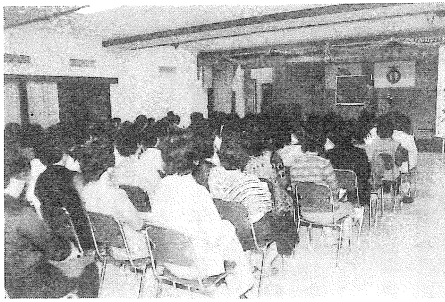
### 婦人がんに関心深まる

#### 一〇四名が講習参加

十月十四日河辺村公民館において、愛大医学部助教教授の猪原照夫先生をお迎えして、「子宮がんで死なない方法」と題して講演会を行ないました。夜間ということもあって、マイクロバスを運行し、一〇四名と予想以上に積極的な参加があり、とても盛大な会となりました。

子宮がんは、予防することはできませんが、毎年検診を受け、早期発見することにより、完全治癒が可能です。

今年の子宮がん検診は十月十八日河辺村役場前で行ない、去年より四五名多い一三三名の受診がありました。



熱心に耳をかたむける婦人たち

河辺村には七〇三名の三〇歳以上の婦人の方がおられるわけですから、まだまだ充分ではありません。

今後もうこういった講演会に積極的に参加され、がん検診はもちろん、成人病検診を毎年必ず受けられますようお願いいたします。

最後になりましたが、講演会の開催にあたりご協力いただきました愛媛県がん予防協会、河辺村婦人会の方々に厚くお礼申し上げます。

### くり生産の向上をめざし 改植・間縮伐に補助金

村の基幹作物であるくり園は、老木園及び過密植園が多く生産量が減退しています。今後、村が五年計画で改植一〇〇ヘクタール、間縮伐五〇ヘクタールを実施し、肥培管理の徹底等で生産性の向上と品質の向上をめざします。事業主体は果樹専門委員会河辺支部で実施し、各地域で講習会を開催して、生産技術の向上と安定生産で増収を図るため、下記の河辺村くり生産振興対策事業実施要領に基づき実施いたします。事業申し込み用紙は、各部落のくり評議員さん宅にあり

ますので、くり栽培農家の皆さん、ぜひこの事業参加をお願いいたします。皆んなで既存園の改良を行い、銘柄を確立して生産の拡大を推進しましょう！

※事業内容  
◎改植について  
(イ)一か所の改植面積がおおむね二a以上。  
(ロ)改植園は、おおむね一五年生以上の老木園であり、改植により生産向上が図られる園。

(イ)一〇a当り植栽本数は、村が作成している「栽培指針」による三二本以上植付け。  
(ニ)新規の植栽は改植と認めない  
◎間縮伐について  
(イ)一か所の間縮伐面積がおおむね二a以上。

◎事業費  
改植一〇a当り二万円  
間縮伐一〇a当り一万円  
◎事業実施計画  
事業主体がこの事業を実施しようとする時は「河辺村農林業振興対策事業補助金交付規程」に基づき、様式により申請書を村長に提出すること。  
なお、くわしくは役場農林振興課にお問い合わせください。

### 同和教育シリーズ(23)

#### 就職差別について

村民の「同和問題意識調査」によると、就職差別の認知が極めて低い。就職差別は、直接生活にかかわる問題で、結婚差別とともに深刻な部落差別の一つである。

就職差別の方法としては、「部落地名総鑑」の購入、利用や調査機関を利用した身元

### おしらせ

- 12月1日～31日歳末助け合い運動
- 4日～10日人権週間
- 10日 人権相談所
- 17日 神納栄養学級
- 20日 交通安全の日
- 21日～31日年末交通安全運動期間
- 25日 小中学校終業式
- 25日～30日村内消防団夜警
- 28日 仕事納め
- 1月1日～10日年始交通安全運動期間
- 3日 成人式典
- 4日 仕事始め
- 8日 小中学校始業式

調査がある。昨年度労働省が調べた「就職差別による実態」では、次のように報告されている。

- ①面接における違背事象(七〇・九%)
  - ②戸籍謄本等の提出(一・六%)
  - ③履歴書違背(一四・七%)
  - ④身元調査(一・四%)
  - ⑤その他(一一・五%)
- 現代社会では、封建制度の社会と違って、すべてのもの
- は法の下で平等であり、職業選択の自由が保障されているところ、ほとんどの企業が、同和出身であるか否かは全く問題にしていないと言っているが、前記労働省の調査でも分かるように、現実には差別につながる採用条件が横行し、差別事件が後を断たないものである。

(同和教育協議会河辺支部)



# 保健だより

## 成人病検診結果について

昭和60年度、成人病検診が  
 終わり、部落別・年代別にま  
 とめてみました。

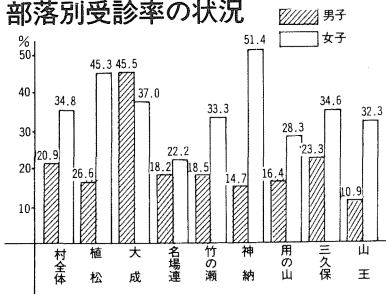
①成人病検診：全く異常のない人は30%、異常のあった方の大部分は高血圧でした。血圧は、脳血管疾患、心疾患の原因となり、測る以外に知る方法はありませんので、定期的測定に心がけましょう。

②胃がん：日本人のがんの1/3近くを占め、40歳から急に多くなり、胃がんは、早期発見により100%なおりますが初期に自覚症状はありません。自分の健康を守るため、検診は毎年受けましょう。

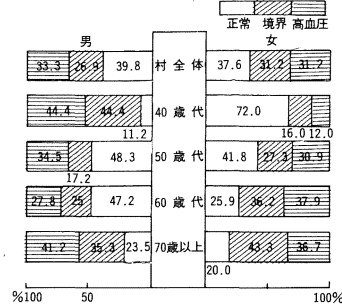
③子宮がん：検診はとても簡

## 〈成人病検診〉

### 部落別受診率の状況



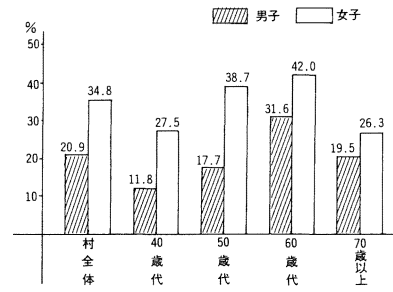
## 年代別の血圧状況



## 年代別の健康度

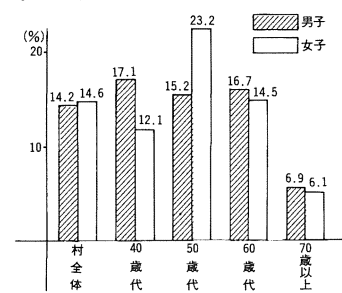
年代	要医療 (%)	要指導 (%)	要観察 (%)	異常なし (%)
河辺村全体	19.0	19.8	30.4	30.8
40歳代	11.8	17.6	32.4	38.2
50歳代	14.3	21.4	26.2	38.1
60歳代	21.4	21.4	31.9	25.3
70歳以上	29.8	17.0	31.9	21.3

## 年代別受診率の状況



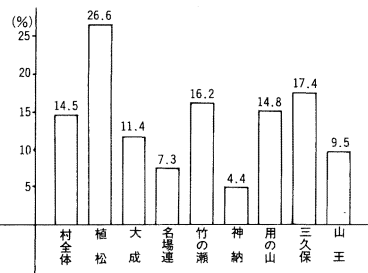
単で、数秒で終わります。検診による発見も確実ですので毎年必ず受けましょう。

## 年代別受診率の状況

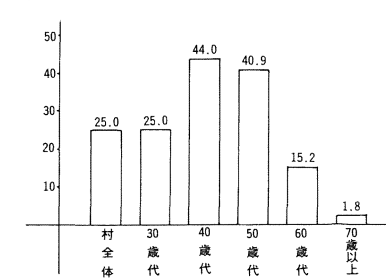


## 〈胃がん検診〉

### 部落別受診率の状況

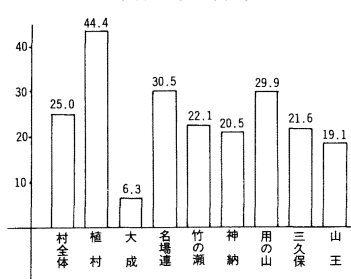


## 年代別受診状況



## 〈子宮がん検診〉

### 部落別受診状況



## 短歌

恵みあり難多かりし山河を  
 越えて来たりし五十年かも  
 取り入れのようやくすみて山里も  
 一雨ごとに秋深まりぬ  
 大空を一直線に断ち分けし  
 飛行機雲の鮮かなる白  
 ならば寝る新生児室を窓越しに  
 今朝生れたる吾が孫さがしぬ  
 踏まれても根強く生きる道草の  
 秋も忘れず稔りそめける

本田ミネヨ  
 清水 菊江  
 増本喜久男  
 関井恵美子  
 国井ミネヲ

## 消息 (自606、118、1011)

☆お誕生おめでとう  
 宮谷 木村 里美 父高壽  
 上大成 浦野香緒里 父友安  
 ☆未ながくお幸せに

(井本 英人 植松  
 五頭美江子 川上  
 ☆おくやみ申し上げます

日除 大元 鶴吉 九四歳  
 川崎 田中ユリ子 四〇歳  
 横山 水野 梅香 五四歳  
 下大成 土居佐太郎 八〇歳  
 国木 高木土之助 八〇歳  
 川上 五頭フジコ 七二歳  
 稲谷 酒井 亀若 八一歳  
 神納 佐伯 宗行 〇歳

## 河辺村公民館が

### 優良公民館で表彰

十一月十八日〜十九日の二日間、愛媛県公民館研究大会が新居浜市を会場に開かれた際、河辺村公民館が優良公民館として、県教育長から表彰されるといふ栄誉を受けました。

これひとえに、住民の皆さまや各関係機関団体の方々の温かいご援助、ご協力のたまものと厚くお礼を申し上げます。